

領域4 インフォーマル・ミーティング議事録

第73回年次大会（東京理科大学野田キャンパス）

2018年3月22日 17:10～18:10 14号館B101会場（書記：木崎）

<出席者>

領域代表：小林研介

領域副代表、次期代表：大槻東巳

次期領域副代表：藤澤利正

運営委員：

（2017年4月 – 2018年3月）

鎌田大（理研）、挾間優治（東大物性研）、中村秀司（産総研）

（2017年10月 – 2018年9月）

秋山了太（東大理）、相馬清吾（東北大WPI）、木崎栄年（阪大工）

（2018年4月 – 2019年3月）

小林嵩（東北大理）、松尾貞茂（東大工）

次期運営委員：

（2018年10月 – 2019年9月）

新屋ひかり（横国大工）

他

1. 報告事項

1-1. 若手奨励賞について

今回の応募者数は12名。

受賞者：塩崎 謙（理研）、米澤 進吾（京大）

審査委員：小林研介（領域代表）、大槻東巳（領域副代表）、藤澤利正（東工大）、野村晋太郎（筑波大）、若林克法（関西学院大）

1-2. プログラム小委員会・領域委員会報告

- 次期領域正副代表の報告、領域運営委員の報告。
- 企業展示業者が、科学技術社から日刊工業コミュニケーションズに変更された。
- 懇親会の開催について。領域正副代表・前代表、前理事・現理事、名誉会員、

代議員、展示会出展企業、現地実行委員などが招待される（有料）。

- 会友制度が始まり、会員と同じ参加費で大会参加できるなどメリットがあるが、一度だけのみ許可される。
- シンポジウムは物性領域で25件採択された。招待公演は8件。企画公演は0件。チュートリアルは1件採択となった。領域4からは中村秀司氏と川上則雄氏の提案が採択された旨の報告があった。

1-3. その他

領域別概要集提出率について、領域4では発表者173人中、提出者は160人。提出率としては92.5%。

2. 審議事項

2-1. 次期領域代表・副代表の紹介（承認済み事項）

次期代表：大槻東巳（上智大理工）、次期副代表：藤澤利正（東工大理）

2-2. 新運営委員の紹介、次期運営委員の決定

新委員（承認済み事項）：木山治樹（阪大産研）、小林嵩（東北大理）、松尾貞茂（東大工）

次期委員候補について以下の1名が推薦され承認された。

新屋ひかり（横国大工）

残り2名はメール審議となった。

2-3. プログラム編成に関して

- 他領域とのセッションの合同開催についてとくに問題はなかった。

➤ 今後のスケジュール

- * 次期運営委員選定（〆切 4/4）
- * シンポジウム・企画講演等公募（〆切 4/27）
- * プログラム小委員会・領域委員会（代表のみ）（5/22 or 5/23）
- * インフォーマルミーティング申し込み（〆切 5/30）
- * 一般講演申し込み（〆切 5/24）

* プログラム編集会議（運営委員参加は関東在住の方）6/8

* 秋季大会（物性）9/9～9/12（同志社大学 京田辺キャンパス）

2-4. キーワードについて

第一キーワードについて全講演数 167 件について 60 件がトポロジカル関係で、約 40 件がグラフェン・ディラック電子系関係だった。

2-5. 秋季大会のシンポジウム・企画講演について

「光と固体」をテーマに、低次元電子系、磁性、超伝導の光による励起・検出・制御の最近の話題について松尾委員からシンポジウムについて提案があった。小林代表からは6～7人の発表者で構成されるのが一般的だとの補足説明があった。4/24 の締め切りまでまだ時間があるので、引き続き検討して下さいとのお願いがあった。

以下、参加者による議論：

（意見）過去に近い内容のシンポジウムがあったのでその辺の配慮があっても良いのではないか？

（返答）2、3年でも何かしら進展があるのでは問題ない。

（意見）同じ所属の方を重複して呼んではいけないのではなかったか？

（回答）学部が違ふと問題ない。

チュートリアル講演の提案として、相馬氏から「トポロジカル物質の電子構造：ARPES」というタイトルで提案があった。

チュートリアル講演の提案として、大野氏・橋坂氏より「最近の超伝導量子計算機研究を理解するための基礎知識」というタイトルで提案があった。

チュートリアルは45～60分でやって欲しいと小林代表から提案があった。

小林代表からシンポジウム申込みについて注意点として、規則をよく読む、重複登壇は可能（年次大会は異なる）、所属重複規制、登壇者が特定のプロジェクト

に集中しないこと、所属のフォーマットの統一など見栄えをよくしておくことについて説明があった。

2-6. 領域4 ホームページとメーリングリストの管理について

引き続き、HP は相馬委員が運営管理することとなった。次回、引き継ぎについて議論することが決まった。メーリングリストの運営管理は小林委員が引き継ぐこととなった。

2-7. 日本物理学会学生優秀発表賞について

領域4 の受賞規則案について事前に配布された資料に基づき、承認された。次回の秋季大会から領域4 における受賞を開始したい旨が発表された（当面口頭発表のみ）。

委員全体の負担が増えることが予想されるが、承認された。

（意見）表彰はいつ？

（回答）学会が終わった後1~2週間あたりでHP に表彰される方を発表。

2-9. その他

小林代表より今期での退任にあたり、お礼の言葉が述べられた。

以上